

国体で優勝 県勢初の快挙

9月28日から10月8日まで開催された第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」。陸上の短距離種目とハンドボールで、県勢初の優勝を成し遂げた本市出身のスーパー高校生を紹介します。

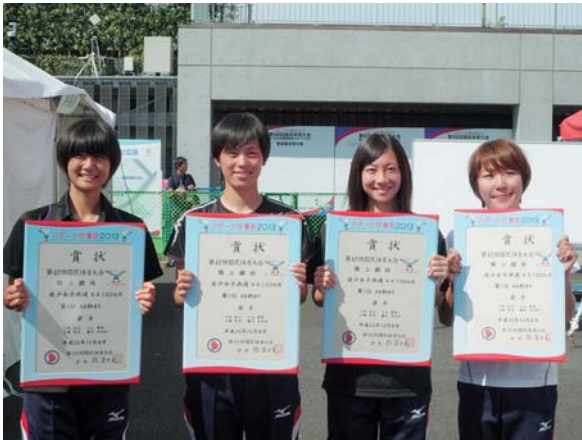
陸上の短距離2種目で栄冠 川村 知巳さん



Profile
●かわむら ともみ/石鳥谷町好地在住、16歳。石鳥谷中学校出身、盛岡第一高校1年。中学1年から本格的に陸上競技を始める。小さいころから走るのが好きで、直線を見ると走り出すような子どもだった。

国体の女子陸上短距離2種目で日本一になった川村知巳さん。少年女子B200mで24秒29の自己新記録で優勝したほか、成・少年女子共通400mリレーの第1走者として優勝に貢献しました。

「自分の力を発揮できれば入賞を狙えると思っていましたが、まさか優勝できるなんて」と喜びをかみしめる川村さん。「リレーの準決勝で大会新記録という大きな成績を残せたことがうれしい」と振り返りました。来年のインターハイ200mでの優勝を目標に、毎日厳しい練習に励んでいます。



第1位の賞状を手にするリレー選手の皆さん

優勝のハンドボールで活躍 谷地 健汰さん 山崎 純平さん



Profile
●やち けんた(写真左)/天下田在住、18歳。花巻北中学校出身、不来方高校3年。大学でもハンドボールを続け、レベルの高い相手にも勝ちたい。
●やまざき じゅんぺい(写真右)/本館在住、17歳。花巻北中学校出身、不来方高校2年。来年は全国高校選抜、インターハイ、国体での優勝「高校三冠」を目指す。

不来方高校を中心とする県選抜ハンドボールチームのメンバーとして活躍した谷地健汰さんと山崎純平さん。国体のハンドボール少年男子で優勝という輝かしい成績を残しました。

同校は、3月の全国高校選抜で初優勝したものの、インターハイでは惜しくも8強。「インターハイで優勝できなかった悔しさをばねに戦い、国体では優勝できてうれしい。普段の練習の成果を発揮できたことが優勝につながった」と話す2人。支えてくれた全ての人たちに、心から感謝していました。



県勢初優勝を喜ぶ県選抜チームの皆さん

賢治さん まちづくり

第20回

宮沢賢治「下の畑」保存会

宮沢賢治は、花巻農学校の教師を退職後、「羅須地人協会」を設立し、青年や熱心な農家を集めて稲作法や農民芸術などを講義しながら、自ら畑を耕しました。その畑に出掛けるときは、「下ノ畑二居リマス」と玄閑協の小さな黒板にチョークで記したそうです。

「賢治自耕の地」は、桜町の賢治詩碑駐車場から約600mの場所にあります。賢治が他界した後は耕作されず、草木が生い茂っていました。その畑を復活させようと奮起したのが、宮沢賢治「下の畑」保存会会長の菅野将勝さんです。多くの観光客が訪れるのに、そこに何もないのは寂しいと感じた菅野さんは4年前、畑の復旧に取り組みました。作業を開始すると、一人また一人と仲間が集まり、約6



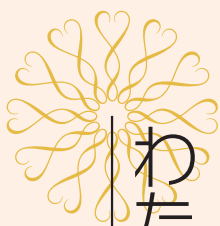
季節の花で彩られる「賢治自耕の地」

カ月後には2反歩の畑が完成。翌年から、賢治が設計した花壇「涙ぐむ目『Tearful eye』」をシンボルマークとして畑の中心に据え、景観づくりも念頭に置きながら、四季折々の花や野菜を毎年育てています。

現在の会員は12人。畑の維持管理は大変ですが、子ども会や高齢者グループなど地域住民が畑づくりに参加する機会も増え、交流の輪が広がっていることがうれしいと話します。観光客に説明できるように、農閑期には賢治に関する勉強会も行っています。

晩秋を迎えた「下ノ畑」。こどもも立派に育った白菜が収穫されるのを待っています。

【問い合わせ】
本庁賢治まちづくり課
(☎24・2111内線365)



わたしたちの地域づくり

地域で取り組む交通安全

東和東部地区コミュニティ会議では、「いつまでも住み続けたい晴谷の郷土健康で明るく元気なまちづくり」を基本方針に掲げ、防犯・交通安全啓発、郷土芸能伝承支援、デイホーム開設支援などの各種活動を展開しています。

本年4月、花巻市交通安全モデル地区に指定された当地区は、これまで以上に交通安全啓発活動に積極的に取り組んでいます。

6月には東和東部地区49世帯1240人が署名した交通安全誓約書を花巻警察署に提出。地域全体で交通安全の推進に取り組むことを誓いました。また、「花巻市交通安全コンクールチャレンジ100」には、自治会や地区内の事業所などから8チームが参加しました。

●東和東部地区コミュニティ会議

9月には園児銀河大使タスキリレーが当地区を訪問。交通安全タスキに署名を行い、交通ルールを守ることを誓いました。10月には地域内の高齢者の世帯を中心に訪問し、交通安全の呼び掛け活動を実施。今後は、交通安全教室を開催し、さらに取り組みを深めます。

当コミュニティ会議では、今後も、住民が一体となって安心して暮らせる住みよい地域づくりを進めていきます。



9月24日、園児銀河大使タスキリレーが当地区を訪問。上瀬保育園の子どもたちと一緒に交通安全を誓いました

【問い合わせ】東和東部地区コミュニティ会議(☎44・32881)